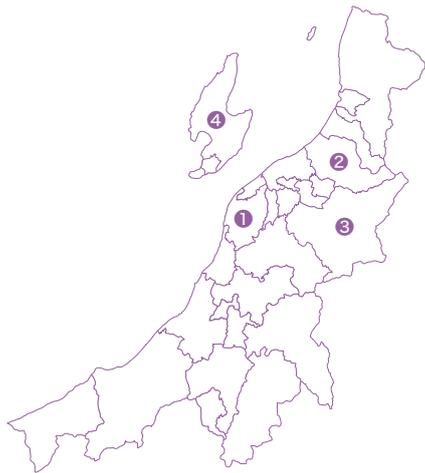


NIIGATA FRUITS



とろけるような舌触り。ぷちぷちした食感が魅力です。

世界最古の栽培果樹といわれているいちじく。新発田市五十公野地区では大正初期に導入され、今日まで盛んに栽培が行われています。米の転用作物として県内各地で栽培面積が増えつつあり、現在では県全体で約200tの出荷があります。主な品種には柘井ドーフィンと蓬萊柿(ほうらいし)があり、柘井ドーフィンは果実が大きくさっぱりとした甘みが特徴で、蓬萊柿は小ぶりで甘みが強いのが特徴です。生で食べるのが一般的ですが、日持ちしにくいので甘露煮やジャムにしてもおいしく召し上がっていただけます。



収穫時期

7月上旬～11月中旬

(最盛期10月上旬～下旬)



県内収穫地域

- ①JA越後中央(新潟市西蒲区)
- ②JA北越後(新発田市)
- ③JA新潟みらい(新潟市南区)
- ④JA佐渡

その他、県内で広く栽培されています

いちじく